

※一部非公開

令和4年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

**非公開**

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

## 非公開

(山崎隆夫,「第1章 教育実践において子どもを理解するとは」, 田中孝彦, 藤田和也, 教育科学研究会編,『現実と向きあう教育学 —— 教師という仕事を考える 25章 ——』, 大月書店, 2010年, 10~18ページ, 抜粋・一部改変)



- 問1 下線部①「そんなに楽しくない1日でした」という言葉に込められた啓太の本意を、本文中の言葉を適宜用いて、50字以上、70字以内で説明しなさい。
- 問2 下線部②「それは、本読みとは違った、麻耶自身の内側から生まれる声であった」とあるが、筆者が述べる「麻耶自身の内側から生まれる声」とは、どのようなことを意味しているのか、本文中の言葉を適宜用いて、50字以上、70字以内で説明しなさい。
- 問3 本文中には、正哉、美佳、太一が書いた3つの詩が紹介されている。それら3つの詩のなかで、もっとも印象に残った詩を1つ選択し、その詩を書いた子どもの名前を解答欄へ記入しなさい。さらに、教員が子どもを理解するという視点で、その子どもの詩が印象に残った理由を200字以上、300字以内で説明しなさい。
- 問4 あなたは小学校の教員としてどのように子どもの理解を深めていきたいですか。筆者が述べる子ども理解の視点も踏まえながら、具体的な教育実践の場を想定して、あなたの考えを800字以上、1,000字以内で説明しなさい。

## 令和4年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

教育学部 学校教育員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

### 出題の意図

教育学部では、アドミッション・ポリシーに基づき、(1)教員として主体性をもち、子ども及び社会と関わっていきたい人、(2)教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人、(3)高等学校での基礎学力を身に付け、思考力・判断力・表現力をもつ人、(4)沖縄の歴史的・環境的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人を求めている。

この問題の題材は、教育実践において子どもを理解することについて述べたものである。問を通じ、学校教育専攻のアドミッション・ポリシーを踏まえて、①教育や子どもに関する知識・理解、②小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力、③小学校教育に対する意欲・関心をみる。